



STEP 7

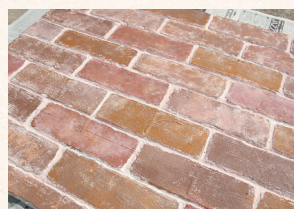
表面の塗装(仕上げ)

所要時間
約60分

- 水性塗料(白色と茶色)を混ぜてお好みの色を作る
- 雑巾に塗料を含ませてポンポンと叩くように付ける(端を中心に付けていき、付けすぎたら白い塗料で手直しする)
- 色合いを変えて何度か塗装する
- 表面をしっかりと乾燥させる(約6~12時間)

POINT

- 雑巾は台所スポンジなどでも代用可能
- カスカスの状態で塗ることで、よりアンティーク調に



STEP 8

レンガ壁の設置

所要時間
約5分

- 両面テープを使ってレンガ壁を貼り付ける(端を釘等で止めてもOK)



Before

After



所要時間合計
約180分
(3時間)

塗装の乾燥時間は含まれていません

STEP 4

レンガ模様の溝を掘る

所要時間
約30分



- 下書きに合わせてはんだごてを使って溝を掘る(初めは細めに、徐々に太くして貫通しないように)
- 「角を丸く」「多少ガタガタ」「表面を所々デコボコに」すればレンガの雰囲気が出てGood!

ATTENTION

- !はんだごては高温になるため取り扱いに注意!
- !作業は換気の良い場所で行うこと!

STEP 5

表面の塗装(下塗り)

所要時間
約15分

- タイル用目地材と水を混ぜる(500gの目地材に160ccの水を混ぜて、マヨネーズより少し固いくらいになればOK)
- 表面に目地材を塗る(ゴム手袋をして手のひらで大胆に塗っていく)
- 溝部分にも目地材を塗り込む(溝を埋めてしまわないように注意)
- 表面をしっかりと乾燥させる(約6~12時間)

POINT

- 砂を混ぜた水性塗料、漆喰、アクリル絵の具、オイルステイン(ペンキとは併用不可)等を使うのもオススメ

STEP 6

重ね塗り(下塗り)

所要時間
約15分
×2

- 乾いた表面が石っぽくなり、発泡スチロールの質感がなくなるまでSTEP5を繰り返す(2~3回)



発泡スチロールで作るレンガ壁

Start!



所要時間
約5分

STEP 1

デコレートする部分のサイズを計る

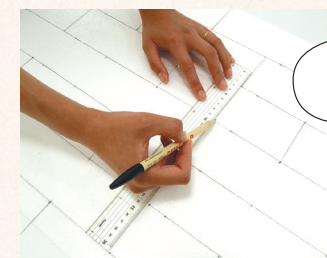
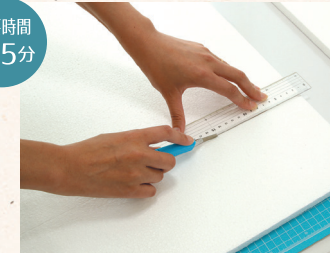
- レンガ壁を設置する場所のサイズを計る(今回は「縦60cm×横78cm」のニッチ部分)

STEP 2

発泡スチロールのカット

所要時間
約15分

- STEP1で計ったサイズより「縦横1cmずつ」小さいサイズに発泡スチロールをカットする。(今回は「縦59cm×横77cm」にカット)
- デコレートする部分が大きい場合は発泡スチロールを組み合わせる。



カッターを使うときは
気をつけてね

STEP 3

レンガ模様の下書き

所要時間
約20分

- レンガ部分の下書きをする(後の「溝掘り」「塗装」で消えるため、大胆に行ってもOK)
- 1つのレンガの大きさは「20cm×7cm」程度(レンガの大きさは好みで)



REPAIR GIRL

リペアガール!

発泡スチロールで お手軽カンタン お部屋の壁を レンガ風にデコレート!

お部屋のアクセントとして壁をデコレートしたいなあと思っていませんか?

壁紙を変えたり、ペンキを塗ったり、レンガの壁も素敵ですね。でも、レンガの壁って業者に頼むとお金がかかりそうだし…。自分ですると大変そうだし…。と結構敷居が高そうなイメージですよね。ところが、発泡スチロールを使えば、お手軽、カンタン、しかもリーズナブルで安全なレンガ風壁が出来るんです!!

このアイデアDIYで壁のデコレートにチャレンジしてみたいかがでしょうか?



※写真はイメージです。

用意 するもの



「ホームセンター」または「100円ショップ」で購入できます。

お家の中でお手軽に
レンガ壁アクセントが
出来る場所をご紹介します。

ニッチ

大きさもお手頃なため、初めての方にはオススメです。



ココ!

キッチンカウンター周り

キッチンカウンターの下の壁等をレンガ壁でアクセント。リビングのイメージをガラッと変えたい方におすすめです。



ココ!

レンガ壁に
ステンシルテンプレート
等を使って文字を
入れたりしてもGood!

レンガ壁を
部分的に貼っても
お洒落!

REPAIRGIRL

